

御覧の書目をいただき

のうみに残っております

樋口富雄先生へ「とも」を奉呈

「とも」を、ロウ

高著をいただき

御厚情のほど、御禮申し上げます。

御指図のとおりたぐいでござい

ます。か早速拜見いたし

樋口先生へ

御記憶違ひではあるかと、奉呈

先生には昭和五、六年頃、おめ

して先生の御記憶に私が残つてお

思ひます。田東日生乃さんとお

田東さん、家に同居して

「と見せ」いたがき

「画家の生活」を、よく知

「と、あ」つう、田東さん、さ

樋口先生を見、おらたぐでござ

「め、う、先生は、私には

御高著は、あらたぐ、ゆつ

拜読いたし、たく有

あらう。

稲澤

ノ乃夫

主永
ナ

五月二十三日

X

東京市港區北青山
二ノ七ノ二六ノ一。五

田原 上ル

107